

旧所在地 きゅうしょざいち	建物の名前 たてもの

3階のすみに愛らしいチョウの飾りが2つ、窓をはさんで向かいあっています。2階の窓の下にも季節ごとの花やいきものかざりサインされています。



⑥ チョウ (蝶)

ヤマオリ

⑦ タカ (鷹) とスズメ (雀)



「兎毛通し」と呼ばれる唐破風の飾り板・懸魚には、タカとスズメがいます。その奥には、宝船に乗った七福神の彫刻もあります。

たてもの 建物の名前	
きゅうしょざいち 旧所在地	

旧所在地 きゅうしょざいち	建物の名前 たてもの

伊達家の家紋は、二本の竹でスズメを囲むデザインです。家紋には、動物だけではなく、植物や文字が使われることがあります。



⑤ スズメ (雀)

ヤマオリ

えらべる 学べる えどまる広場 2020

いきものさがし

見つけてみよう。

園内を歩いていると、建物のいろいろな所にいきもの形があるのを見かけます。

さて、どの建物についているいきものかわかりますか？

※裏面に旧所在地地図があります。

旧所在地 きゅうしょざいち	建物の名前 たてもの

青銅(ブロンズ)製の電燈の四面に、ライオンの頭(獅子頭)が配されています。皇居を守るため、百獣の王であるライオンを飾りにつけたのかもしれない。



④ ライオン (獅子)

ヤマオリ

① ツル (鶴)



式台のある玄関の屋根には懸魚と呼ばれる飾り板がついています。ツルは昔からおめでたい鳥とされ、水に関係することから火よけのお守りにもなっています。

たてもの 建物の名前	
きゅうしょざいち 旧所在地	

旧所在地 きゅうしょざいち	建物の名前 たてもの

木の端につけられた彫刻「木鼻」は、お寺や神社の建物にも見られます。ソウの他にも獅子や龍がついていることもあります。神聖な場所を守るためにつけられています。



③ ソウ (象)

ヤマオリ

② キツツキのようなミミズク



壁掛けタイプの玄関灯。一見キツツキのようにも見えるこのミミズクは青銅(ブロンズ)製です。長くくちばしから、円錐状のフードが下がっています。

たてもの 建物の名前	
きゅうしょざいち 旧所在地	

たてもの
それぞれの建物は、もともとどこに建っていたのかな？

地理院地図を加工して作成

